

## 結果の要約

### 1 職業

大阪府の15歳以上就業者数(3,954,211人)を職業大分類別にみると、「生産工程・労務作業」が1,081,420人(15歳以上就業者数の27.3%)と最も多く、次いで「事務従事者」が821,009人(同20.8%)、「販売従事者」が681,993人(同17.2%)などとなっている。平成12年と比べると、「サービス職業従事者」が32,591人(8.4%)増、「保安職業従事者」が3,383人(6.4%)増などとなっている。一方、「管理的職業従事者」が25,965人(21.2%)減、「販売従事者」が75,277人(9.9%)減などとなっている。

職業4部門別割合は、「事務・技術・管理関係職業」が36.8%と最も高く、次いで「生産・運輸関係職業」が30.8%、「販売・サービス関係職業」が29.3%、「農林漁業関係職業」が0.6%となっている。平成12年と比べると、「事務・技術・管理関係職業」、「販売・サービス関係職業」がそれぞれ0.5ポイント、0.3ポイント上昇しているのに対し、「生産・運輸関係職業」が1.6ポイント低下している。また、「農林漁業関係職業」は同率となっている。

「事務・技術・管理関係職業」	= 「専門的・技術的職業従事者」 + 「管理的職業従事者」 + 「事務従事者」
「生産・運輸関係職業」	= 「運輸・通信従事者」 + 「生産工程・労務作業」
「販売・サービス関係職業」	= 「販売従事者」 + 「サービス職業従事者」 + 「保安職業従事者」
「農林漁業関係職業」	= 「農林漁業作業」

### 2 就業時間

15歳以上就業者の平均週間就業時間は41.2時間で、職業大分類別にみると、「運輸・通信従事者」が49.1時間と最も長く、次いで「保安職業従事者」が44.7時間、「管理的職業従事者」が44.4時間などとなっている。平成12年と比べると、すべての職業大分類で減少となっている。特に、「サービス職業従事者」が2.8時間減、「販売従事者」が1.7時間減となっている。

### 3 夫婦の労働力状態、職業

夫婦の労働力状態をみると、夫が就業者で妻が就業者以外である夫婦が776,002組(夫婦数2,060,369組の37.7%)と最も多く、次いで夫と妻ともに就業者である夫婦が745,697組(同36.2%)などとなっている。また、夫と妻ともに就業者である夫婦の職業をみると、夫と妻ともに「生産工程・労務作業」である夫婦が79,806組(夫と妻ともに就業者である夫婦数の10.7%)と最も多く、次いで夫が「生産工程・労務作業」、妻が「事務従事者」である夫婦が72,360組(同9.7%)などとなっている。

### 4 従業・通学時の世帯の状況

従業・通学時の世帯の状況をみると、「通勤・通学者のみの世帯」は1,054,402世帯(住宅に住む一般世帯3,543,108世帯の29.8%)となっている。一方、通勤・通学者以外の世帯員がいる世帯は2,488,706世帯(同70.2%)で、このうち通勤・通学者以外の世帯員が65歳以上の「高齢者のみ」の世帯が759,319世帯(同21.4%)、「女性のみ」の世帯が621,704世帯(同17.5%)、「幼児と女性のみ」の世帯が222,468世帯(同6.3%)となっている。

図1 大阪府の職業（大分類）別就業者数（平成12年，17年）

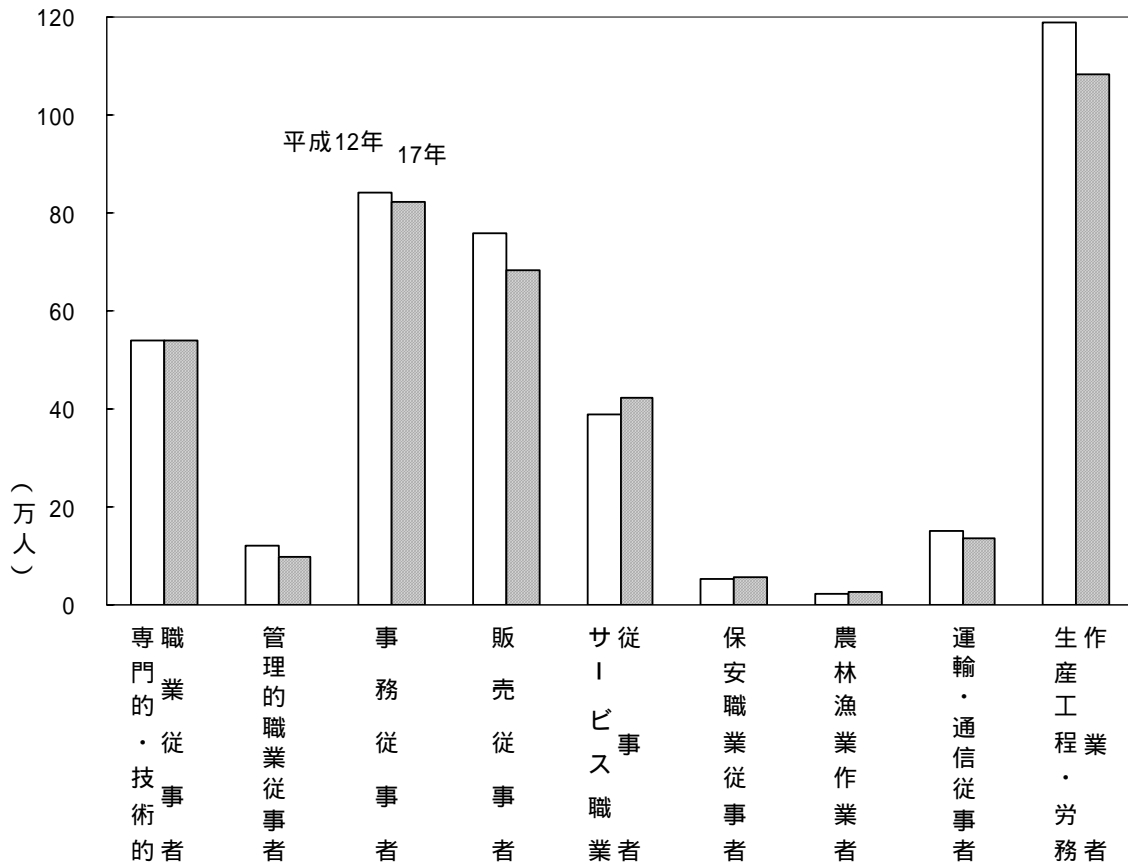


図2 大阪府の職業（4部門）別割合の推移（昭和55年～平成17年）

